

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

本誌編集室担当

短 歌

うつむいてスマホ片手に忙しく
指先みれば踊るがごとく

●松戸市 秋元輝美

いつだって今が一番幸せと

母の口癖わが道しるべ

●印西市 山田 明

人生はおのれが立てたプランなら

つらい試練も筋書きどおり

●小金井市 杉中清良

公報の表紙に応募日の出だす

一月号に採用されし

●羽村市 中 新一

独り居の古典広げし夜長なる

笑顔輝く君の住む街

●平塚市 田中博由

ノンアルの屠蘇で今年はゆきませう

先ずは健康生きててなんぼ

●明石市 小田和子

初笑い演者の熱気窓ゆらす

●伊丹市 白石かず

俳 句

甘き香に黄映ゆろうば蠟梅空の青

●小山市 塚野 京

これ以上伸びぬ腰なり大根引く

●小山市 原田利江

寒波とて気合で起きる夜明け前

●本庄市 長谷川千鶴子

七草や図鑑携帯野辺歩き

●草加市 長谷部禎子

年の瀬に届くは友の形見かな

●戸田市 清水久雄

どんど焼き正月飾り空に融け

●朝霞市 林 則雄

いつまでも居座るコロナ鬼は外

●東京都葛飾区 東海洋一

うたたねも妻足音に目を覚まし

●武蔵村山市 原野晴光

鏡餅慣れた手さばきふとしのぶ

●佐世保市 橋口文子

似合わなくもかぶれば若く冬帽子

●塩尻市 大家協治

雪囲藁鮮やかに松本城

●塩尻市 奥原光夫

ふさわしき注連飾りおり安らかに

●塩尻市 小野正平

断崖の続く岩肌野水仙

●塩尻市 町田まさ子

ゴミ出して年賀挨拶そこそこに

●野洲市 若松能夫

掘こたつ外は雪降り雪見酒

●綾部市 岩瀧憲一

寒月やふるえてないか月兎

●明石市 小田慶喜

海光に映へて大樹の冬椿

●伊丹市 磯部芳子

寒椿知るや知らずや寒きこと

●伊丹市 梅内弘子

折込みの安売りメモしまとめ買い

●熊谷市 金井 浩

優等生もやしタマガゴよどこ行った

●戸田町 可孝唯